

●初期対応→ チェック表 → 備品リスト

想定される危機に対して、初期対応のリスト、チェック表、備えておくべき備品などを検討し、ファイルを作成し、初期対応時に直ぐに確認できるようにします。特に、早朝、深夜などに発生した場合は、誰が対応するか、従業員の安否確認などをどうするか、常に考えて対策を行っておくことが必要です。地震発生の場合の例をしめします。

初期対応をどうすべきか、常に検討し、定期的に訓練を行う事が、必要です。

火事が発生したとして、工場から、従業員が非難するのに、避難口、避難経路が適切かどうかを、訓練の中で検証する事が大切です。二階、三階立ての工場で、階段の踊り場に、資材などが常に保管されていて、従業員は、常にエレベーターを使用しているので、階段では、非難できないことに、気がついて居ない場合があります。気がついていても、仕方無いと思っているのかもしれない。

災害は、工場長などが不在時に発生する場合が、おおい物です。常に時点責任者が誰かを明確に設定し、時点責任者が、自分の判断で行動できるように、訓練を繰り返すべきです。

時点責任者が行った事に対して、非難しないことも大切です。もし、うまくいかなかった場合は、訓練不足と、責任者は反省すべきです。

[食品工場の危機管理の基本](#) [危機管理センターについて](#) の [目次に戻る](#)

こんな事が聞きたい方は [連絡先](#) から お願いします。



<http://ja8mrx.o.oo7.jp/koujyou1.htm>